

都市再生整備計画 事後評価シート

桂川駅周辺地区

令和5年2月

福岡県桂川町

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名		桂川町		地区名		桂川駅周辺地区			面積	18.93ha	
交付期間	平成27年度～令和2年度		事後評価実施時期		令和4年度		交付対象事業費		1,741.3百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(自由通路整備事業、南側駅前広場整備事業)、地域生活基盤施設(防災調整池)、高質空間形成施設(王塚古墳への誘導路整備事業)											
		提案事業												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設(観光交流センター整備事業)、高質空間形成施設(公衆トイレ整備事業)				・公衆トイレ整備事業及び観光交流センター整備事業による交通結節機能の充実を図るため、事業を追加する。				・観光交流センター整備事業：指標2と指標3の数値を上方修正 ・公衆トイレ整備事業：指標2の数値を上方修正			
		提案事業												
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		指標1の桂川駅の乗降客数と指標3の王塚装飾古墳館の入場者数について、令和2年度はコロナウイルスの影響により、緊急事態宣言中の利用者の激減や集客イベントの中止などを余儀なくされたため、指標への影響が大きい。								
変更	平成27年度～令和2年度													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	桂川駅の乗降者数	人/日	3,908	H25	4,100	R2	2,684	×	あり	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令や、リモートワークによる在宅での勤務が推奨されたこと、また、集客イベントの中止等により利用者が減少したことによる指標への影響が大きい。また、1年以内には、駅周辺の市街化は困難であり、目標値を達成することは難しい。 駅周辺を整備(自由通路整備事業、南側駅前広場整備工事)したことにより、駅利用者などへの利便性は向上しているが、それだけで駅の利用者の増加につなげるのは難しい。しかし今後は、駅周辺での民間による開発などが増加してきているため、徐々に利用者が増加すると考えられる。	—		
										なし	●			
	指標2	桂川駅周辺等市街地の整備に対する満足度	%	2.9	H22	20	R2	9	△	あり	従前値より6%向上させることが出来たが、目標値までには至らなかった。しかし、本アンケート(第6次総合計画策定に係る)をとった時期には、まだ駅周辺の整備が完了前であったこともあり、その影響もあったのではないかと考える。 従前値の示す2.9%は満足と答えた数値であり、この時の、やや満足と答えた割合が15.9%で両方を含わせると18.8%であった。今回のアンケートで、満足と答えた割合は9%にとどまっているが、やや満足と答えた割合は37.5%に向上し、両方を含わせると46.5%となり、従前値の約2.5倍となっている。	—		
										なし	●			
	指標3	王塚装飾古墳館の入場者数	人/年	4,638	H25	5,300	R2	4,057	△	あり	新型コロナウイルスの影響により、施設の休館や集客イベントの中止を余儀なくされたことによる指標への影響が大きい。今後も新型コロナウイルスの状況によっては、目標値を達成することが難しい場合も想定される。しかし、新型コロナウイルスの影響が出る以前のH26年度～令和元年度までの間は、毎年、目標値の5,300人を上回る入場者を維持していた。特に令和元年度は7,756人の来場者があったため、新型コロナウイルスが落ち着き、イベントの開催などが出来るようになれば、再び目標値を上回るのではないかと考える。	—		
									なし	●				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	駅周辺での宅地化された開発面積	m ²	0	H27			16,724				駅周辺の整備をおこなったことにより、駅周辺での民間による開発などが活発になっている。		
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	・王塚古墳への誘導路整備事業による着色歩道などにより、桂川駅から王塚古墳までの歩行者の誘導がスムーズに行えるようになった。 ・防災調整池を整備したことにより、大雨時に駅南側で起きていた冠水箇所などが以前より改善された。 ・自由通路整備事業及び南側駅前広場整備事業により駅の南北から駅利用が可能となった。南側駅前広場は、大型バスも転回が可能となり、公共交通の交通結節点としての機能も向上した。また、町営駐車場や駐輪場も設置したことにより、パークアンドライド・キスアンドライドを促進することができるようになった。この効果により、以前は北側の道路で起きていた通勤通学の時間帯に起きる渋滞が、送迎の車などが南北に分散されるようになったことで改善された。また、南側の道路には、自転車専用レーンも整備されているため、歩行者の安全も確保できるようになった。													
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	なし						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

桂川駅周辺地区(福岡県桂川町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
目標1: 町内各地との交通ネットワークを強化するための公共交通拠点としての交通結節点機能の充実		桂川駅の乗降客数	単位: (人/日)	3,908	H25	4,100	R2	2,684	R2
		アンケート調査による駅周辺市街地の整備に対する満足度	単位: (%)	2.9	H22	20	R2	9	R2
目標2: 公共交通拠点である桂川駅周辺の安全な都市基盤の整備		王塚装飾古墳館の入場者数	単位: (人/年)	4,638	H25	5,300	R2	4,057	R2
目標3: 駅周辺の地域資源の活用と都市機能の充実による定住促進のための環境整備			単位:		H		H		H
			単位:		H		H		H

新駅舎(公衆トイレ・観光交流センター)

桂川駅南側広場

■基幹事業 高質空間形成施設 公衆トイレ整備事業
■基幹事業 高次都市施設 観光交流センター整備事業
■基幹事業 高質空間形成施設 王塚古墳への誘導路整備事業
■基幹事業 道路 自由通路整備事業
■基幹事業 道路 桂川駅南側広場整備事業
■基幹事業 防災 防災調整池整備事業

凡 例
 ■ 基幹事業
 - - - 関連事業(他事業)
 ■ 都市再生整備計画区域

王塚古墳への誘導路

自由通路

防災調整池

まちの課題の変化	桂川駅南側広場整備事業及び自由通路整備事業により駅を南北から利用が可能となった。そのため、以前から問題になっていた、通勤通学時などの送迎車による渋滞が解消された。また、駅がリニューアルしたことにより、周辺での民間による開発なども増えてきたため、駅周辺の市街化も期待される。しかしその一方で、農地が宅地化されることにより、大雨時の貯水機能が低下して、冠水の問題が発生することも懸念される。同じく宅地化が進むことにより交通量などが増えることも想定されるため、既存道路の安全対策及び冠水対策なども今後必要になると想定する。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	桂川駅から博多駅まで電車で約30分という立地の良さや、王塚古墳など町の強みを活かしたPRを、整備された新駅舎やkeisenまちプラザ(観光交流センター)などをうまく活用し、町の知名度を向上させることで、移住者や定住者を駅周辺に呼び込む。また、駅周辺だけではなく、駅までの安全で利便性の高いアクセス道路(都市計画道路3・4・43-4 シカヤ飯塚牟田線)の整備を行うことで、道路の沿線にも、効果を波及させ、町を活性化させることで、人口減少対策を行う。